

(市川市PTA連絡協議会研究大会報告書)

第3分科会 テーマ「PTA組織運営の現状と課題」 司会 PTA連絡協議会会計(大野小)

<現状>

各校より、学校・地域との協力や、防犯活動、PTA役員の選出などに関して現状報告をしていただきました。

活動については、若干の違いが認められるものの、運動会などの学校行事への協力、登下校時のパトロール活動など、概ね各校共通の目的を持って行われ、PTA役員の選出に関しては、苦慮されている学校が多いようです。

<課題>

・PTA役員と、それ以外の保護者の活動に対する考えに温度差があり、行事が盛んになればなるほど役員のなり手が減ってしまうというジレンマに陥っている。

・PTA役員も保護者であるにも関わらず、学校と保護者の仲裁役になってしまい、そのような現状を見ることで、役員の選出がさらに難しくなっている。

・行事において、PTA役員以外の保護者の協力を得る事が難しく、同じ人に何度も協力を依頼する事になる。

<総評>

今回の分科会において、話し合われた様子から、防犯に関する関心の高さが感じられ、活動の中心に位置する学校もあるようですが、人員確保が難しく、当番を決めても協力できない保護者も見受けられ、学校はもちろん、地域の方々の協力が不可欠なようです。

各校一様に役員の選出に苦慮されているようで、立場による意識の差が影響していると思われますが、活動を精査し、参加しやすいPTAを考える必要性の高さを表しているように感じました。

また、保護者のみならず、学校教職員においてもPTA活動に関する意識の差があるようで、保護者、教職員ともに理解を深める必要があると思われます。

市川市PTA連絡協議会